

幹事 土屋雄二郎

影島会長の元で務めた幹事役もあつという間に一年が経ち、今月で寂しくも終了となります。幹事になり、私の最低限の目標であったホーム皆出席は達成することができ、安堵しております。

本年度を振り返ってみると、やはり今年もコロナに翻弄された一年間でした。コロナによりまん延防止等重点措置と緊急事態宣言が発令され、年度開始早々の7月28日から9月30日までと、下期の1月25日から3月21日まで、それぞれ7回ずつ、合計14回も休会になりました。41回の例会開催予定でしたので、実に3分の1も休会となってしまいました。また、開催できてもテーブル形式でなくスクール形式で弁当の持ち帰りとなったり、テーブル会も中止となる等、開催の形に制限のある一年となりました。他クラブとの交流行事も、5月に山梨での年次大会は開催されましたが、IMや他の行事は中止になったり、ほとんどの会合はズーム開催となってしまいました。

その様な状況でしたが、本年度のメイン事業である「Proud NUMAZU CUPフェンシング選手権2021 サーブルランキングマッチ&沼津北ロータリークラブカップ」は、12月25日26日にキラメッセぬまづで無事開催することができました。影島会長は残念ながら緊急手術のため欠席となりましたが、菊地副会長や青野社会奉仕委員長や皆様のご協力があり、とても盛況だったように思います。

他にも奉仕支援活動として、7月に熱海豪雨災害支援金、9月に佐賀・長崎豪雨災害支援金、4月にウクライナ支援金を送金し、5月に県立沼津特別支援学校に寄付をし、6月には他団体と共に志下海岸清掃も行うことができました。親睦活動では、10月に「海上つりまりまるやさん」での親睦釣り大会、11月、6月にゴルフコンペを

開催し、皆様との親睦をさらに深める事ができたように思います。

私自身、この1年幹事を務めさせて頂いたおかげでロータリーにぐっと興味を抱きました。恥ずかしながら入会して10年になるのに、これまでロータリーについて深く考えた事はありませんでした。しかし、PETS、RLI、会長幹事会、地区研修協議会、地区大会等に参加することで、ロータリーの本質を知り、奥深さを感じ、改めて入会して良かったと実感しました。中でも、国際的なロータリーのネットワークを活用しての国際奉仕活動には非常に興味を抱きました。菊地年度で国際奉仕委員長を拝命しているの、その具現化に向けて、さらに勉強したいと思います。そして、少しでも奉仕の一助になればと、ポールハリスサエティにも入会をさせていただきました。

怠け者の私を幹事に指名してしまった影島会長には、非常にご迷惑をお掛けしました。本来なら私がやらなければならない理事や委員長や他ロータリーとの連絡や調整も率先して行っていただきました。ただ、毎週事務局で行った例会進行の打ち合わせは、ランチを兼ねて行い、私自身がすごく楽しかったし、二人との親睦も図れたように思います。元々親しかった影島会長とはさらに友情が深まり、何でも言い合える無二の親友となりました。

最後に、影島会長、菊地副会長、荻田SAA、高橋前幹事、内野次期幹事、理事や各委員長の皆様には本当にお世話になりました。そして、私の仕事が飲食業とコロナ禍で多大な影響を受ける中で、沼津北ロータリークラブの皆様にはご心配をいただき、テイクアウトやランチでのご利用等をしていただき、皆様のお気持ちが大変嬉しく、ロータリーでの絆を実感しました。本当にありがとうございました。お陰様で、一年間を無事にとても楽しく終える事ができました。これからも、引き続きどうぞ宜しくお願いします。

委員会報告

社会奉仕委員会

6月5日 志下海岸清掃

参加会員28名 ご家族4名

